

南京国際平和通信



Nanjing International
Peace Communication

「南京国際平和通信」

主催：侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館

編集：南京大虐殺史及び国際平和研究院

第六回南京大虐殺犠牲者国家公祭が南京で開催—中国人民は国の名で南京大虐殺犠牲者を追悼
日本軍の暴行に関して新たな証拠—マギー氏が撮影した37分の映像を記念館に贈呈
南京市民と海外の友人たちが雨の中で、当時の南京安全区を8キロにわたり散策

07

2020年1月 総第07期
Jan 2020 Issue 7

和
平

Peace



編集者から

読者の皆様：

この「南京国際平和通信」がお手元に届く頃には、もう春の訪れが近いかと思います。万物は蘇生し、草は育ち、鶯が飛ぶ。記念館の紫金草花園では平和の花がもうすぐ咲きます。第六回南京大虐殺犠牲者国家公祭期間中の出来事とみなさんからの平和の声をお届けします。

全文は 3000 字ぐらいです。読むには 5 分程必要です。

トップニュース

中国人民は国の名で南京大虐殺犠牲者を追悼した

2019 年 12 月 13 日午前、南京大虐殺犠牲者国家公祭儀式が中国南京で行われました。

広場には国旗が半旗で掲げられ、8000 人余りの各界の代表が胸に白い花をつけて参加しました。10 時丁度、公祭セレモニーが正式に開始し、まずは中華人民共和国国歌が熱唱され、その後街中に防空サイレンが鳴り、会場にいる参加者も歩いている人も足を止めて黙祷し、最後に軍楽団の演奏した「国家公祭献曲」の旋律のなかで、18 名の解放軍儀仗隊員が花輪を公祭台に献上しました。

82 名の南京市青少年代表が「平和宣言」を朗読し、6 名の各界代表によって平和の鐘が突かれました。三度響いた鐘の音の中、犠

犠牲者への追悼と世界平和への祈念が託された 3000 羽の平和の鳩が空に向かって飛んでいきました。

この日の午前、南京市内の 17 箇所の日本軍による南京大虐殺犠牲者の集中埋葬地とともに 12 のコミュニティと 6 箇所の抗日戦争をテーマとした愛国教育基地に於いて追悼活動が行われました。



世界平和を祈る法事が記念館で開催され 中日の僧侶がともにお経を唱えた

12 月 13 日 15 時、「世界平和を祈る法事」が記念館の犠牲者壁の前で執り行われ、中日両国の僧侶がともに犠牲者に線香を捧げ、死者の魂を苦しみから救うためにお経を唱えました。この法事が 2003 年 12 月 13 日に最初に行われ、その後毎年継続してきて、今回で 16 回目となります。



ロウソク祭り 南京から世界へ平和の声を

12月13日夕方、国際平和都市協会会長フレード・アメンター氏、記念館館長張建軍、副館長凌曦、時鵬程と、生存者阮定東、石秀英、烈士と裁判官の2世、海外からの友人たち、学生代表及び日本友好団体代表、日本宗教界代表、300名の方々が記念館の追悼式場でロウソクを灯し、南京大虐殺犠牲者を追悼し、世界平和への祈念を南京から発信しました。

南京大虐殺期間中、リチャード・ブライデーさんは南京鼓楼病院の外科医として、大勢の難民を救助しました。彼の孫ステーブンさんとひ孫のメーガンさんもロウソク祭りに参加し、17歳のメーガンさんはその時期の物語をたくさん読み、とくにメニー・ボートリンさんが命の危険を顧みず、1万人以上の女性と子供を保護したことに感動し、「この身で感じて」という歌を作って現場で歌い、みんなでより平和で素晴らしい未来を作り出したい気持ちを表しま

した。

張建軍館長が挨拶の中で「南京は中国はじめての国際平和都市なので、ここから世界へ平和のメッセージを発信します。人類は同じ地球村に住んでおり、同じ運命の共同体です。平和の大切さはすでに世界共通の認識です。ここからより多くの団体や個人がもっと平和を守るようにと呼びかけます。ろうソクの光が闇を打ち破り、犠牲者の霊を慰め、生きている皆さんに温もりをもたらすように、各国の人民が手を携えて、みんなが平和で尊厳のある世界で生きられるようにと、願っております」と述べました。





カナダ、アメリカなどで平和集会を開催

カナダ時間 12 月 8 日午後、トロント北ヨーク市市役所の会議室で、カナダ和楓会主催の「歴史、文化と教育の角度から世界平和を考察」というテーマの南京大虐殺犠牲者記念日シンポジウムが行われ、5 人の歴史、社会、文化、戦争史などの分野の研究者が講演しました。



カナダ時間 12 月 12 日 12 時（北京時間 12 月 13 日 零時）、アンターレー県の議会ビルで、南京大虐殺犠牲者記念海外平和集会が行われ、元県議員の黄素梅さん、カナダ籍の華僑及びカナダ籍韓国人、日本人、オランダ人、アマニア人と地元の白人ら 100 人が参加しました。

「他者の苦難は私たちの苦難でもある」と、地元日本人コミュニティのカナダ作家小川楽（(Joy Kogawa) さんが、「日本人コミュニティには南京大虐殺を否認する人もいますが、これはわたしたちがこの集会を開催しなければならない理由だ」と述べました。



同じ日にバンクーバーのチャイナコミュニティでは南京大虐殺犠牲者公祭セレモニー及び「歴史を忘れず、平和を大切に」と題する写真展が開催され、60 以上の中国人団体と社会各界 300 人が参加しました。



動き

新たに一名の南京大虐殺犠牲者が確認され 名前を犠牲者壁に

記念館では新たに一名の南京大虐殺犠牲者が確認され、彼の名前「周万荣」という三文字が犠牲者壁に刻まれ、10665 番目の記名となりました。

周万荣さんの娘陶秀華さん（元の名前周成娣）は当時 10 歳で、1937 年 12 月 14 日の朝、4、5 人の日本兵が銃を持って彼女の家にやってきて、父親とほかの 4、5 人の中国人を連れ去って行きました。彼女と 5 歳の妹が泣きながら熱河路から挹江門まで追いかけていましたが、日本兵に銃で止められて、それから父親に会うことがありませんでした。



彼らは家族で南京大虐殺犠牲者壁の前で追悼

夏淑琴、葛道荣、馬庭宝、艾義英……2019 年 12 月はじめ、南京大虐殺生存者が毎日寒さにも関わらず、南京大虐殺犠牲者壁の前で

亡くなった家族を追悼していました。

生存者と犠牲者の家族がどんどん年を取っていき、南京大虐殺の記憶の伝承が二世と三世が担うようになり、生存者二世の記憶伝承活動もスタートしました。いままですでに 761 名の生存者二世の情報が収集され、記憶伝承活動に参加できるのが 399 人で、その内訳は、二世 155 人、三世 154 人、四世 89 人、五世 1 人です。



南京大虐殺生存者胡信佳さんと金茂芝さんが死去

12 月 4 日、南京大虐殺生存者胡信佳珍さんが死去し、享年 95 歳でした。1937 年 12 月 14 日、日本軍が長江の中洲にやってきて、彼は何人もの中国人が日本軍に殺されたのを目撃しました。彼は薪の山の後ろに隠れていたため、命を拾いました。

12 月 5 日 16 時 50 分、南京大虐殺生存者金茂芝さんが死去し、享年 91 歳でした。彼は父親を含む 20 数人が日本軍に殺されたのを目撃し、父親が亡くなってから、生活が非常に困難になり、母親と一時乞食をして過ごしました。

2019 年 12 月 18 日までに、登録されている生存者はわずか 78 名になりました。



12 月 13 日南京生まれの高校生が公祭セレモニーで 「平和宣言」を朗読した

「山が聳え立つ古都金陵、滔々たる長江、鐘山の花と雨が、千年も香ってきた」。2014 年 12 月 13 日、最初の南京大虐殺犠牲者国家公祭日から 6 年連続で、南京市第一高校の生徒たちがセレモニーで「平和宣言」を朗読してきました。今年の朗読チームのリーダー崔自鑫さんはちょうど 12 月 13 日生まれで、彼が「朗読しているうち、まるで 1937 年に来たような感じになって、大勢の人々が日本軍に殺されたのを見て、抑えきれない怒りと深い悲しみが湧いてきて、涙ながらの朗読になった」と述べました。

朗読した生徒のほとんどは 2000 年以後に生まれた子で、彼らは公祭現場での朗読は南京っ子の使命だと、「この重い歴史への理解

と平和への願いを世界中の人々に届けたい」と述べました。



学術討論

日本軍の暴行に関して新たな証拠

マギー氏が撮影した 37 分の映像を記念館に贈呈

2019 年 12 月 13 日午後、アメリカの牧師ジョン・マギー氏が撮影した 37 分の映像の贈呈式が記念館で開催されました。この 37 分の映像はアメリカ籍の中国人邵子平さんが 1991 年マギーさんの息子ダビィー・マギーさんの家の地下室で発見されたフィルムからコピーしたもので、すでに発見された各種のマギー撮影記録の中では、一番南京大虐殺事件を克明に反映した内容で、重要な歴史資料の価値を有しています。

南京大虐殺期間中、アメリカ人牧師ジョン・マギー氏が命の危険

を顧みず、南京に居残り、16 ミリ撮影機で1ー12 号フィルムを撮影し、いままで唯一の南京大虐殺に関する動画映像を残してくれました。

マギー撮影記録が最初に世に出されたのが1938 年1 月下旬に友人のジョージ・ヒキーさんが、上海のコダック会社で現像した1ー4 号フィルムで、その時4 つのコピーを作りましたが、これらのコピーが戦時中にアメリカ、イギリス、日本、ドイツで上映され、国際社会で大きな影響を及ぼしました。

ヒキーさんが南京を離れてからも、マギーさんも撮り続けていて、その後の内容はもっと豊富となり、マギー撮影記録の中に1ー12 号フィルムに関する説明もあり、これらのフィルムをずっとマギーさん本人が保管していました。

1991 年、「南京大虐殺遭難同胞記念連絡会」がニューヨークで発足され、邵子平さんが幹事長になり、四苦八苦してやっとジョン・マギーさんの息子ダビィー・マギーさんを探し当て、その年の7 月、とうとう彼の家の地下室でフィルムの入った銅の箱を見つけました。それらのフィルムはまさに南京大虐殺現場で撮影したものでした。

ダビィー・マギーさんが連合会にこれらの日本軍の暴行を記録したフィルムを全部贈呈し、邵子平さんと連合会の主なメンバーたちが、この貴重なフィルムを映画会社に頼んで、最終的に2 セットの37 分間の「1 インチディスク」にしました。

専門家たちの考証によると、37 分間の「1 インチディスク」に主に 3 つの内容が含まれています。1、最初の 11 分 22 秒は主に八一三事変後の上海の状況です。2、日本軍が南京を占領する前の画面、1 分 23 秒です。3、日本軍が南京を占領してからの暴行、例えば上海路で青年を逮捕した場面、鼓楼病院で日本軍暴行被害者を救助した場面、江南セメント工場難民キャンプの中で被害者を救助した場面、及び生存者伍長徳さんの映像などです。

専門家たちによると、記念館収蔵の「17 分間の映像」に比べると、37 分版は 3 つの特徴があります：

時間の長さから見ると、37 分版は 11 分 22 秒の上海の場面と、17 分版と重複する部分を除くと、実際の南京の場面は 17 分版より 9 分も長いのです。

撮影空間から言うと、現在記念館収蔵の「17 分版」の映像は主に南京安全区内の内容で、郊外の棲霞寺などの映像はわずかしがなく、「37 分版」の画面は安全区内だけではなく、郊外の日本軍の暴行も含まれています。資料によると、1938 年 2 月 16 日から 17 日、マギーさんが東郊外の棲霞寺と江南セメント工場難民キャンプに行ったとのこと、従って難民キャンプの中の映像や、被害者が次々と運ばれた様子などが含まれていて、「17 分版」よりずっと内容が豊富です。

撮影範囲からいうと、「37 分版」では鼓楼病院だけでも 30 人あまりの被害者が撮影され、中の 11 人は「17 分版」にない人たちで

す。例えば生存者伍長徳さんの映像などです。また鼓楼病院ではある女性は首が切られ、座ったままでロバート・ウエルソン先生の手当を受けていました。ウエルソン先生は彼女の頭をねじろうとしたが、彼女の表情は大変苦痛でした。

南京師範大学南京大虐殺史研究センター主任、南京大虐殺史と国際平和研究員張連紅教授が、今回記念館に贈呈された「37 分版」映像は大変重要な意義を有していると述べています：

まず「37 分版」はすでに発見された各種のマギー撮影映像の中では、最も全面的に南京大虐殺を反映し、内容も一番豊富です。たとえば鼓楼病院の被害者の人数や伍長徳さんの動画映像や夏淑琴さん一家の被害現場などです。

それから重要な文物と歴史資料として価値を持ちます。当時連合会がマギー撮影映像を発見し、「37 分版」のディスクと「マギーの証言」や「天皇の命令のもとで」などのドキュメンタリーの制作と発行、それから世界中の沢山の図書館への贈呈などで、広範な影響を及ぼしました。1990 年代、日本の右翼勢力がよく南京大虐殺を否定していた状況の中で、ドキュメンタリー「マギーの証言」はそれに反論した有力な証拠となりました。間違いなく、このオリジナルなディスクは重要な文物と歴史資料としての価値があります。

張連紅教授は、また 2002 年 10 月、連合会の働きかけで、ジョン・マギーさんの息子ダビィー・マギーさんが撮影機と 4 箱のフィルムを全部記念館に贈呈し、そこから得た「17 分版」のマギー撮影映像

の文物価値もかけがえのないものと述べました。

2019 年、記念館は、贈呈あるいは収集で、新たに 1711 点（セット）の文物を入手しました。張建軍館長が「これらの文物のおかげで、歴史の記憶が生命力を持つことができ、次の世代への伝承も可能になります。今は歴史資料のデジタル映像センターの建設に力を入れており、これらの資料を倉庫に置くではなくて、展示や出版や伝播などで人々に見せたいです。今も努力していますが、今後はいっそう文物の収集を通じて歴史を追っていきたい」と紹介しました。



「歴史を忘れず、ともに平和を築きあげよう」

2019 年関連新刊書を出版

2018 年 12 月 9 日午前、「歴史を忘れず、ともに平和を築きあげよう」と、2019 年関連新刊書の出版記念式が記念館で行われました。「歴史を見守る－40 年来の南京大虐殺記憶伝承口述史」、「南京大虐殺史実展」（英語版と日本語版）、「日本の中国侵略南京大虐殺研究」（英語版と日本語版）、「南京保衛戦資料と研究」など全部で 9 冊の新刊書が出版されました。

凌副館長によると、記念館と研究院がこれからも史実研究、口述史の採集、研究成果を外国語への翻訳などに力をいれて、2019年の公祭が終わり次第、さっそく海外の友人の後世への口述史の採集をはじめる予定で、2020年に読者に捧げることができるそうです。



生存者二世が日本へ、平和集会で証言

2019年12月7日から11日、日本「南京大屠杀60周年全国連絡会」主催の「南京大屠杀82周年証言平和集会」が大阪、名古屋、静岡、東京など各地で開催され、生存者葛道栄さんの息子葛鳳瑾さんと南京大屠杀史研究者孫宅巍さんが日本に訪問し、参加しました。

名古屋の集会が開催された日はちょうど主催者小野政美さんの誕生日にあたり、「生存者二世の証言が一番いい誕生日プレゼントだった」と小野さんは喜んでいました。定年退職した元教師として、小野さんは歴史の真相をより多くの人に知ってもらおうといろいろ

ろな努力をしてきました。「本当の平和が人権を保障してくれるはず。歴史の真相を知るのも一種の人権で、保障されるべきだ」と小野さんが言いました。



温もり

雨の中を8キロ、南京安全区の徒歩活動を開催

2019年11月30日午前、記念館主催の「南京安全区平和と感謝の徒歩活動」が開催され、300人余りの市民と海外からの友人が参加しました。みな徒歩活動を通じてジョン・ラーベ氏、メニー・ボートリン氏、ジョン・マギー氏などの戦時中の外国の友人たちの友情と善意を共有しました。

92歳の葛道栄さんが生存者を代表してボートリン女史の銅像に紫金草色のマフラーを結びました。

最終地点に着くと、生存者阮定東さんがみんなに平和の記念バッ

ジと紫金草の種を配り、春の開花に期待を膨らませました。

2016 年以来、記念館が毎年「南京安全区平和と感謝の徒歩活動」を開催し、戦時中の外国の友人たちの友情と善意に感謝を表しました。



プラタナスが黄金色になるこの季節あなたを偲ぶ 南京市民がジョン・ラーベ氏の誕生日に書いた手紙

11 月 23 日はジョン・ラーベ氏の誕生日です。82 年前の南京大虐殺期間中、彼は自分の安否も顧みず、南京に残って南京安全区国際委員会を発足し、自ら主席となり、25 万人の難民を保護して、自宅だけでも 600 人以上の難民を保護しました。南京の市民はいままで一度も彼の恩を忘れたことがなく、彼のことを「南京の善人」と呼んできました。

今年のラーベさんの誕生日の前、ある南京市民が彼に手紙を書きました。その一部の内容は以下のとおりです：

親愛なるラーベさん：

お誕生日おめでとうございます。

この頃の南京はプラダラスの落ち葉で黄金色に染まっています。



あなたの住んだお庭はすこし寂しいですが、でもここの静けさと落ち葉がとても好きです。



今の南京はあなたの 55 歳の時と、全然違います。

あなたへのお誕生日プレゼントは平和です。

その時、晴れるともっと爆撃されやすいとあなたは心配していました。

82 年後の今、晴れた日に、紫峰ビルや紫金山が綺麗に見えて、

いろいろな鳥も凧も自由に空を飛んでいます。

あなたの見た戦闘機と戦場の煙、子供や少女への殺戮、古都が生き地獄のようになったことなどを経験せずに生きている自分がなんと幸せなことか。

82年後、子供たちが紫金草の種をまき、街が活気にあふれていて、ここは中国ではじめての国際平和都市になりました。



ラーベさんの誕生日に、ある大学生が近くの花屋でお花を買おうとした時、店員に誰にと聞かれ、ラーベさんへと答えたら、「ラーベさんはもうおじいちゃんですね、バラの花にしよう」と言いました。彼女は近くの花屋で30年も働いて、ラーベ記念館の誕生も見守ってきたそうです。



南京の老夫婦の 26 年間の撮影活動

南京の老夫婦、92 歳の劉健芝さんと 84 歳の祁恩芝さん、1994 年から、26 年間継続して記念館で撮影活動を行い、雨の日も寒い日も猛暑の日もバスと地下鉄に乗り換え、ずっと続けてきました。

2019 年第六回南京大虐殺犠牲者国家公祭日にも、お二人が朝 6 時に家を出て、夜 9 時まで、ずっと首に重いカメラを下げて、若い記者のように一日中写真を撮り続けました。

2018 年、劉さん夫婦がこれまで撮ってきた 1008 枚のフィルムと、22286 枚のデジタル写真と 5 冊の「南京大虐殺犠牲者追悼活動記録」を記念館に贈呈しました。「世界中の平和を愛する人々が見られるように、これからも健康が許す限り、ずっと撮り続けていきたい」と述べました。

